

透析施設における COVID-19 への感染対策の手順

- ① 患者に毎日の体温測定と健康状態の把握を指示する。
- ② 発熱や感冒症状のある場合は、来院前に透析施設に電話連絡するように指導する。
- ③ 電話連絡を受けた医師が総合的に判断して、COVID-19 を疑う場合は COVID-19 の相談センターに連絡をして、検査が必要と判断されれば、COVID-19 専門外来で PCR 検査が行われる。または、医師が直接 PCR 検査スポットなど検査可能な施設を紹介する。
- ④ PCR 検査の結果が陽性であれば、透析患者は全例入院となる。ただし、PCR 検査の結果が出るまでの期間は、自施設で透析を行うことになるため、患者にはマスクを着用して、公共交通機関の利用をしないで来院するように指示する。
- ⑤ 患者が来院した際には、他の患者と動線が交わらないように配慮する。
- ⑥ 透析室では、標準予防策に加えて、飛沫感染と接触感染の予防策を徹底する。
- ⑦ 透析を行う際には個室隔離が推奨される。個室隔離透析が不可能な場合には、飛沫距離である 2 m を考慮して、周囲のベッドと 2 m 以上の間隔を空けて透析を行う。
- ⑧ 医師やスタッフは適切な PPE である、ディスポーザブルガウン、サージカルマスク、ゴーグルまたはフェイスシールド、ディスポーザブル手袋を着用して、透析の開始や終了の手技を行う。
- ⑨ ディスポーザブル製品が使用可能な物品は、ディスポーザブル製品を使用する。
- ⑩ ディスポーザブル製品が使用不可能な物品は、感染患者専用として、透析終了ごとに消毒する。
- ⑪ 汚染された物品や汚染の可能性のある物品は、個々の患者のベッドサイドに廃棄物入れを用意して、感染性廃棄物として廃棄する。
- ⑫ 使用した PPE は感染エリアを出る前に専用の廃棄物入れを用意して、感染性廃棄物として廃棄する。
- ⑬ PPE を脱ぐ際に医療者が接触感染を起こす可能性があるため、適切な PPE の脱ぎ方を徹底する。
- ⑭ 透析終了後は、シーツや枕カバーなどは患者ごとに交換して、ベッド柵やオーバーテーブル、透析装置外装は、透析終了ごとに清掃および消毒をする。
- ⑮ 透析室での器具の消毒は、0.05～0.1 % の次亜塩素酸ナトリウムまたは 60～70 % のアルコール系消毒薬、ペルオキソ一硫酸水素カリウム配合剤のいずれかにより行う。
- ⑯ 透析中および透析終了後には適切な換気を行う。

(本文 p.28 参照)